

経営体の概要

- ・所在地：北海道旭川市永山町
- ・経営体名：永山蜻蛉（せいれい）組合
（事務局：JAあさひかわ）
- ・作業内容：ラジコンヘリによる農薬散布の受託
- ・組合員数：23名（令和5年）
- ・受託延べ面積：205,578a（令和5年）
- ・RH所有台数：3機

導入技術

- ・ほ場管理クラウドシステム
- ・受託ほ場の委託者名や面積などのほ場情報をGIS化・クラウド化
- ・作業面積や使用農薬量の計算を現場で迅速に行える
- ・現場での作業日報入力が可能となり、機体毎の作業進捗状況を確認できる

タブレットによる作業面積の計算や作業状況の入力



導入経緯

- ・面積の集計作業など、手計算では計算間違いが発生していた。
- ・散布作業終了後に行う面積計算や日報作成等の事務作業が負担となっていた。
- ・そこで、作業の効率化を目指して、平成27年にはほ場管理クラウドシステムを導入した。

取組の特徴・効果

- ・農薬散布作業の効率化が図られた。
 - 散布面積当たり農薬量を現地で速やかに計算できるようになった。
 - 機体毎の作業進捗が確認できるため、作業終了した機体が速やかに応援散布に行くことができるようになった。
- ・散布作業と同時に日報入力ができるようになり、事務作業が大幅に軽減された。導入前と比較して年間の労働時間は238時間短くなり、ゆとり創出につながった。（表1）
- ・労働時間の短縮により、年間の人件費が595千円削減された。（表1）
- ・システムとタブレット年間の利用料は437千円（表1）

表1 システム導入前後の比較

	システム導入前 H26年度	システム導入後 H28～R2平均
労働時間	2,831時間	2,593時間
人件費	7,077千円	6,482千円
システム利用料	—	363千円
タブレット利用料	—	74千円（4台）